

# 鳥取県における高病原性鳥インフルエンザウイルス検出 (野鳥国内 15 例目) に伴う野鳥緊急調査の結果について

令和2年12月18日(金)

<鳥取県同時発表>

鳥取県鳥取市における野鳥糞便からの高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出(野鳥国内 15 例目)を受けて、令和2年12月14日及び15日の2日間、鳥取県が野鳥緊急調査を実施したところ、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

## 1. 調査期間

令和2年12月14日(月)～15日(火)(計2日間)

## 2. 調査結果

鳥取県鳥取市における野鳥糞便からの高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出(野鳥国内15例目)を受けて指定した野鳥監視重点区域内にある渡り鳥が多く飛来する池、河川等4か所において、野鳥の生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施した結果、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

(参考) 野鳥緊急調査で確認された鳥類

検査優先種	種数	種類
検査優先種1	8種	ヒシクイ、マガン、コハクチョウ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、オオタカ
検査優先種2	8種	マガモ、オナガガモ、トモエガモ、ホシハジロ、スズガモ、オオバン、オオワシ、ノスリ
検査優先種3	15種	カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ハシビロガモ、ヨシガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、カワアイサ、アメリカヒドリ、カワウ、アオサギ、カモメ、ミサゴ、トビ、ハイタカ
合計	31種	

※検査優先種:「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定しているものです(別紙参照)。

## 3. 今後の対応

引き続き、野鳥監視重点区域において、野鳥の監視を継続します。

### 【参考情報】

環境省のホームページでは、高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。  
([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/index.html](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html))

環境省自然環境局野生生物課 鳥獣保護管理室	
直通	03-5521-8285
代表	03-3581-3351
室長	川越 久史 (内線 6470)
企画官	立田 理一郎 (内線 6465)
係長	小西 美代 (内線 6477)
係長	中山 裕貴 (内線 6474)